令和７年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 高 和 会

目　　次

社会福祉法人 高和会 ・・・

令和７年度 事業実績報告書

社会福祉法人 高和会

年月日	記事	
令和7年4月1日	令和7年度 役員構成 理 事 :定数 6 名 理事長 :髙見 和嗣郎 理 事 :甲斐淳一、木山誠 日髙省三、新田壽則 山本直樹 評議員 :定数 7 名 松田俊介、黒木元吉、花畑途人、久嵎正経 池田拓二、古谷栄一、栁田幸男 監 事 :定数 2 名 藤本博明、井上敏彦	令和8年3月31日現在 理 事 :定数 6 名 理事長 :髙見 和嗣郎 理 事 :甲斐淳一、木山誠 新田壽則、山本直樹 長友繭子 評議員 :定数 7 名 松田俊介、久嵎正経、古谷栄一、池田拓二 栁田幸男、黒水タズ子、吉田勝幸 監 事 :定数 2 名 藤本博明、井上敏彦

1. 会 議

(1)理事会･評議員会･監事監査･評議員選任･解任委員会

令和7年5月23日

ア 監事監査
(ア)時 間 10:00 ～ 12:00
(イ)場 所 はまゆう園会議室
(ウ)出席者 監事: 2 名
理事長、事務局理事 2 名
(エ)内 容 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。また、理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しは定款に違反する重大な事実は認められない。
計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。

令和7年5月30日

イ 第1回 理事会
(ア)時 間 10:00 ～ 12:00
(イ)場 所 はまゆう園会議室
(ウ)出席者 理事: 5名 監事: 2名
(エ)議 題 決議事項
第一号議案 令和6年度 高和会事業報告(案)について
第二号議案 令和6年度 高和会決算報告(案)について(監査報告)
第三号議案 定款変更(基本財産の追加)について
第四号議案 令和7年度 資金収支第1次補正予算(案)について
第五号議案 任期満了に伴う理事及び監事候補者について
第六号議案 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について
第七号議案 評議員選任･解任委員会の開催について
第八号議案 令和7年度 定時評議員会の開催について

令和7年6月20日

ウ 第1回 評議員選任･解任委員会
(ア)時 間 9:30 ～ 9:45
(イ)場 所 はまゆう園会議室
(ウ)出席者 委員: 3名 事務局: 4名
(エ)議 題 決議事項
第一号議案 新評議員7名(令和7年6月20日任期開始)の選任について

年 月 日	記　　事
令和7年6月20日	エ 第1回 （定時）評議員会 (ア)時 間　10:20 ～ 12:00 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　評議員：5名　理事：2名　監事：1名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 令和6年度 高和会決算報告について 第二号議案 定款変更について 第三号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
令和7年6月20日	オ 第2回 理事会 (ア)時 間　17:00 ～ 17:15 (イ)場 所　延岡市中小企業振興センター 5階 会議室3 (ウ)出席者　理事：5名　監事：2名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 理事長の選定について
令和7年9月25日	カ 第3回 理事会 (ア)時 間　10:00 ～ 12:00 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　理事：5名　監事：2名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 経理規程、就業規則等の変更について 第二号議案 令和7年度 資金収支第2次補正予算（案）について 第三号議案 評議員候補者の推薦について 第四号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第五号議案 業務災害総合保険について
令和7年10月8日	キ 第2回 評議員選任・解任委員会 (ア)時 間　10:00 ～ 10:20 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　委員：3名　事務局：3名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 評議員1名の選任について
令和8年1月30日	ク 第4回 理事会 (ア)時 間　10:00 ～ 12:00 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　理事：4名　監事：2名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 （仮称）グループホーム第3あさひ荘の新築について 第二号議案 グループホーム等建設用地先行取得について 第三号議案 （仮称）総合相談センター建設用地取得について 第四号議案 理事の選任について 第五号議案 臨時評議員会の開催について
令和8年2月12日	ケ 第2回 （臨時）評議員会 (ア)時 間　10:00 ～ 12:00 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　評議員：7名　理事：2名　監事：2名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 理事の選任について

年 月 日	記　　事
令和8年3月23日	コ 第5回 理事会 (ア)時 間　10:00 ～ 12:00 (イ)場 所　はまゆう園会議室 (ウ)出席者　理事: 6名　監事: 2名 (エ)議 題　決議事項 第一号議案 就業規則の変更について 第二号議案 グループホームの定員変更について 第三号議案 運営規程の変更について 第四号議案 役員等賠償責任保険契約について 第五号議案 令和7年度 第3次補正予算(案)について 第六号議案 令和8年度 高和会職員体制について 第七号議案 令和8年度 高和会関連事業の事業計画(案)について 第八号議案 令和8年度 高和会関連事業の当初予算(案)について

令和７年度 事 業 実 績 報 告 書

［ 職員配置 ］

社会福祉法人 高和会

事 業 所 名	令和7年4月1日			令和8年3月31日		
	正 職	臨時・パート	合 計	正 職	臨時・パート	合 計
障害者支援施設 はまゆう園	52 名	35 名	87 名	53 名	37 名	90 名
はまゆう園多機能型事業所	10 名	9 名	19 名	11 名	9 名	20 名
はまゆう園多機能型恒富事業所	6 名	5 名	11 名	7 名	4 名	11 名
はまゆう園生活介護恒富事業所	11 名	13 名	24 名	13 名	13 名	26 名
グループホームあけぼの荘	11 名	24 名	35 名	12 名	23 名	35 名
地域生活支援事業所たいよう	7 名	11 名	18 名	7 名	11 名	18 名
夜間支援員（グループホーム・たいよう共通）	－	13 名	13 名	－	12 名	12 名
サポートセンターはまゆう	2 名	2 名	4 名	2 名	2 名	4 名
のべおか障害者就業・生活支援センター	2 名	2 名	4 名	2 名	2 名	4 名
延岡市西部地域基幹相談支援センター	2 名	1 名	3 名	2 名	1 名	3 名
合　　計	103 名	115 名	218 名	109 名	114 名	223 名

令和７年度 社会福祉法人高和会 事業報告書

法 人 基 本 理 念

【明るく・たくましく・明日をみつめて】

◇ 私たちは何時如何なる時も、利用者本位の支援を目指します。

◇ 私たちは地域に開かれた、地域に信頼される施設を目指します。

◇ 私たちは法人・施設の機能を挙げて、地域福祉の充実発展を目指します。

基本方針

法人の基本理念を改めて再認識し、多様な福祉サービスが利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫し、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに生活され、又その有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことが出来るよう支援します。

地域における法人の存在意義を明確にし、社会福祉法人としての役割と使命を果たすことが出来るよう事業を展開します。

令和７年度は、下記７項目に重点を置き、法人運営を行って参りました。

(1) 経営計画の策定・明確化並びに安定的な財務基盤の確立

法人の基本理念や基本方針については、繰り返し全職員へ周知を行ってきました。法人全職員のベクトル合わせという点では完全ではないものの、法人の目指す方向性は一定程度伝わったものと感じています。

一方で、地域の福祉ニーズに対して積極的に運営できたとは言い切れず、その場しのぎの運営となった面もありました。今後は、地域の声を大切にしながら、将来を見越した計画性をもった運営に努めてまいります。

BCP の運用については、法人全体として緊急事態を想定しての机上訓練等を十分に実施できず、課題として残りました。将来のリーダー育成等についても、法人全体の人員確保に追われ十分に取り組めなかったことから、まずは全事業所で職員が潤沢に回る体制づくりに向け、職員確保を喫緊の課題として取り組みます。

財務状況については、税理士による月次監査を確実に実施し、月次決算をもとに予算執行状況の確認・把握を行うことができました。資金計画についても、突発的な修繕事業を行いつつ、入所施設の大規模な建替え事業に向けての資金積み立てを予定通り実施できました。今後は補助金等の活用も念頭に置きながら、計画を進めてまいります。

(2) 法令等遵守の徹底

各事業所長を中心に、法令遵守について繰り返し周知を図ってきました。

報酬請求事務については、認識不足による過誤請求等が少なからず発生しました。報酬算定基準等をしっかり理解するとともに、内部でのダブルチェック機能を充実させ、請求誤りの防止に努めてまいります。

(3) 人権の尊重

利用者の意思決定支援については、職員それぞれの考え方に差があるように感じました。職員主導の支援になることがないよう、全職員で意識の統一を図り、「利用者にとって良い支援」を常に意識して支援にあたりたいと考えています。

利用者やご家族の意向をしっかり受け止め、利用者一人ひとりがその人らしく生きていける環境を提供できるよう、引き続き取り組みます。

苦情等については真摯に対応してきたつもりですが、いただいた苦情を十分に次へ活かすことができなかった点は反省すべき課題です。同様の場面で苦情を受け付けることがないよう、改善に努めてまいります。

令和 7 年度中、法人全体として明らかな虐待事案はありませんでした。しかし、「虐待の芽」となる材料が潜在している可能性もあることから、虐待防止委員会において「虐待の芽」を摘む取り組みを開始しました。虐待防止は全職員で取り組む必要がある最重要項目として、今後も継続して取り組んでまいります。

(4) 地域との共生

障害者支援施設およびグループホームで義務化された地域連携推進会議は計画通り実施することができました。新たな視点でご意見をいただくことで、施設としても職員としても良い刺激となりました。一方で、地域連携推進会議の運営方法が確立しておらず、手探りでの開催は否めません。令和 8 年度より、内容を充実させ、意味のある会議体となるよう取り組みます。

年間を通して最も多くのボランティアを受け入れる収穫祭については、感染症対策と並行して実施したことにより、多くのボランティアの方に参加をご辞退いただく形となりました。今後も収穫祭に限らず、ボランティアの受け入れを積極的に行っていきたいと考えています。

また、みやざき安心セーフティネット事業を通じて、生計困難者等への支援を実施し、実績を上げることができました。社会福祉法人としての役割を多少なりとも果たすことができたものと感じています。

(5) 利用者支援の充実

福祉サービス第三者評価の受審については取り組むことができませんでした。

身体拘束適正化委員会を毎月開催し、現状の課題等を全事業所長で共有し検討することができました。身体拘束や不適切な支援に対する職員一人ひとりの考え方にも、変化が出てきたものと感じています。

事故並びにヒヤリ・ハット事例については積極的に共有を図りましたが、一部共有にとどまり再発防止につながらないという課題が残りました。同じシチュエーションでの事故やヒヤリ・ハット事例が起きないよう、再発防止の徹底に取り組みます。

環境整備については各事業所で少しずつ老朽化が進んでおり、緊急時を除き計画的にメンテナンスを行うよう心がけていきます。

令和 7 年度は、6 年ぶりの入所利用者の旅行を実施しました。利用者にとっても職員にとっても素晴らしい思い出となり、貴重な経験を積むことができました。また、新たな取り組みとしてイチゴのハウス栽培に挑戦しました。初年度は手探りの中での取り組みとなり、担当職員には多大なるプレッシャーとストレスを与えることとなりましたが、無事に実がみのり販売まで到達することができました。職員の努力の成果であり、次年度にも期待しています。

今後は、イチゴに限らず、はまゆう園にしかない商品・サービス等のブランド化も図ってまいります。

(6) 人員の確保・育成・働き方改革の推進

新規職員採用については苦戦が続いています。他法人も取り組んでいる外国人労働者等の採用についても検討はしているものの、課題も多く取り組めていません。

成長支援制度（人事制度）を 1 年間実施し、評価基準の統一化等に課題はあるものの、職員同士のコミュニケーションツールとしては良い材料になったと感じています。引き続き制度の見直しを行いながら、より良い制度となるよう取り組みます。

ICTや介護ロボットの導入については他法人に比べ遅れている部分がありますが、やみくもに導入を進めるのではなく、職員にとって働きやすく、業務負担軽減につながるアイテムを常に模索していきます。

(7) 施設の改修・改築並びに事業変更等計画

【障害者支援施設はまゆう園】

管理棟及び１棟・２棟・給食棟建替え工事（令和 10 年度着工目標）・・・平面図作成中

３棟居住棟一部改修工事※強度行動障がい者対応（令和８年度まで）

・・・強度行動障がい支援チームを立ち上げ検討を進める

【はまゆう園多機能型事業所】

園東側訓練畑ビニールハウス建築（令和７年度着工）・・・令和７年５月完成運用中

事業所移設建替え工事（令和 10 年度まで）・・・入所施設と併せて平面図作成中

【はまゆう園多機能型恒富事業所】

一部2階建て改修工事（令和７年度）・・・建築基準法をクリアできず白紙

【地域生活支援事業所たいよう】

（仮称）第3あさひ荘新築 （令和８年度まで）・・・（公財）JKAの補助事業採択受けられず次年度に持ち越し

【共同生活援助あけぼの荘】

あけぼの荘・つつじ荘閉所（令和８年度まで）・・・（仮称）第3あさひ荘新築と並行して行うため次年度以降に

令和７年度 障害者支援施設はまゆう園 事業報告書

1.事業概要と入所利用者の状況（令和8年３月末時点）

施設入所支援　定員 90 名　　現員 84 名

短期入所　　定員 6 名

生活介護　　定員 80 名　　現員 77 名

日中一時支援

令和７年度 障害者支援施設はまゆう園 施設入所支援利用者（実人数）												
年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	2,547	2,607	2,542	2,625	2,517	2,482	2,600	2,488	2,578	2,538	2,314	2,558

令和７年度 実利用者数計　30,396 人　※実利用者数 前年度比較 -280人

利用者平均年齢

男性　55 歳　　平均支援区分 5.88　　最高齢 85歳　最年少 27 歳

女性　56 歳　　平均支援区分 5.97　　最高齢 91歳　最年少 26 歳

男女　55 歳　　平均支援区分 5.92　　強度行動障害対象者　 68 名

令和７年度 障害者支援施設はまゆう園 短期入所利用者（実人数）												
年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	45	55	59	56	46	39	43	41	46	23	46	68

令和７年度 実利用者数計　567 人　※実利用者数 前年度比較 209 人

令和７年度 障害者支援施設はまゆう園 生活介護利用者（実人数）												
年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	1,663	1,742	1,691	1,790	1,700	1,667	1,767	1,670	1,767	1,758	1,511	1,737

令和７年度 実利用者数計　20,463 人 ※実利用者数 前年度比較 227 人

＊日中一時支援　令和７年度 実利用者数 １名　　実利用日数 27 日

前年度実績 実利用者数 １名　　実利用日数　１日

2.重点目標

（1） 施設入所支援

① 利用者やご家族から信頼される基本的な生活支援の提供

② 利用者の人権擁護と虐待防止、意思決定支援

③ 感染症対策を含む健康管理の徹底

（2） 生活介護

① 生活の潤いや生きがいに繋がるような楽しい活動の提供

② 利用者の個性や特性、心身の状況に応じた活動の提供

3. 目標達成のための具体的な取り組み

（1） 施設入所支援

① 気候に応じた衣類の提供や清潔保持、居住棟内外の環境整備など利用者が安心して快適に生活できるよう部屋担当を中心としながら基本的な生活支援や生活環境の調整に取り組みました。特に食事面で配慮を要する利用者が増えたため、食堂での支援体制や席順を見直すとともに体調や嚥下状況に合わせ、こまめに食事の形状を変更、安全においしく食事ができるように対応しました。また、家庭や後見人に定期的に連絡し、来園された際は可能な限り担当職員が対応するなど、ご家族との信頼関係の構築に努めました。

② 日常の中で利用者の好みや要望を反映した選択肢を設け、利用者の意思決定を支援し、意思表示の苦手な利用者に対しては、意思形成、意思表明に繋がるよう支援を行いました。また、虐待の芽となる不適切な支援、気になる支援にも目を向け、各会議で職員自身が支援を振り返り利用者にとって良い支援を目指しました。

③ 日々の健康観察や毎月の健康チェック、定期受診等を通して、健康課題の早期発見、早期対応に努め、適時専門医療機関への受診や時には救急搬送を行うなど、利用者の体調の変化に対応しました。また専門職を含めた担当者会議を行い、健康で安全な園生活が継続的に送れるよう多面的な視点から検討しました。感染症においては手洗いや換気・消毒など基本的な対策の他、インフルエンザ予防接種や65歳以上の対象者へコロナワクチン接種を実施し感染症予防に努めましたが、コロナウイルス感染症とインフルエンザＡ型の集団感染が発生しました。

コロナウイルス集団感染　　９月１日～９月 24 日（利用者 25 名、職員７名）入院１名
10月 21 日～11 月 17 日（利用者 25 名、職員９名）

インフルエンザＡ型　　令和８年１月９日～１月 21 日（利用者 18 名、職員８名）

入院利用者　12 名　　退所利用者　１名

（2） 生活介護

① 日々の関わりや自治会を通して上がった利用者の希望や要望を、行事や日々の活動に反映できるように努めました。収穫祭は感染対応を行いながらの開催だったので文化展を開催することができませんでしたが、完成した作品が園内や延岡パラアート展で掲示されることで、さらに活動への意欲や喜びに繋がりました。季節行事も予定通り開催、特にビアガーデンはご家族と一緒に開催することができ楽しい時間を過ごすことができました。

② 障がい特性や身体の状況を考慮し活動グループを構成、必要に応じてさらに小グループ化し一人一人に合わせた活動や活動環境を整え、対人関係を含めその時々の状況に合わせて支援を行いました。理学療法士・作業療法士によるリハビリは、個々の身体状況に合わせて実施するとともに、専門職から見た「日常生活の中で配慮すべき点や注意すべき点」を職員間で共有し、体力や身体機能の維持向上に努めることができました。また、グループ活動の中で口腔体操やリズム体操、手先を使った感覚運動、散策などの活動に取り組み、転倒や怪我、誤嚥の防止に努め、より一層慎重に支援や見守りを行いました。

令和７年度 障害者支援施設はまゆう園 事業報告書

【 保健実績 】

年 月	検 診 名	事 業 名	男 性	女 性
令和７年４月	採血（精神科）	はまゆう園	32名	29名
		多機能型事業所(生活介護)	３名	３名
		多機能型事業所(B型)	２名	２名
		共同生活援助事業所あけぼの荘	１名	
		地域生活支援事業所たいよう	５名	１名
令和７年５月	採血（内科）	はまゆう園	16名	８名
		多機能型事業所(生活介護)	10名	６名
		多機能型事業所(B型)	6名	２名
令和７年６月	結核検診	はまゆう園	47名	36名
		多機能型事業所(生活介護)	12名	９名
		多機能型事業所(B型)	８名	４名
		多機能型恒富事業所	22名	10名
		生活介護恒富事業所	16名	13名
		共同生活援助事務所あけぼの荘	４名	２名
		地域生活支援事業所たいよう	２名	２名
令和７年７月	乳癌検診	はまゆう園		14名
		多機能型事業所(生活介護)		３名
		多機能型事業所(B型)		１名
令和７年８月	子宮癌検診	はまゆう園		12名
		多機能型事業所(生活介護)		２名
		多機能型事業所(B型)		
令和７年９月	大腸癌検診	はまゆう園	11名	９名
		多機能型事業所(生活介護)	５名	７名
		多機能型事業所(B型)	７名	３名
令和７年９月	胃がん検診	はまゆう園	１名	１名
		多機能型事業所(生活介護)	２名	４名
		多機能型事業所(B型)	４名	
令和７年10月	胃がんリスク検査	はまゆう園	８名	
		多機能型事業所(生活介護)		
		多機能型事業所(B型)		
令和７年10月	前立腺癌検診	はまゆう園	24名	
		多機能型事業所(生活介護)	２名	
		多機能型事業所(B型)	２名	

年 月	検 診 名	事 業 名	男 性	女 性
令和７年 10 月	採血（精神科）	はまゆう園	32 名	30 名
		多機能型事業所(生活介護)	３名	３名
		多機能型事業所(B型)	２名	２名
		多機能恒富事業所	１名	
		地域生活支援事業所たいよう	４名	１名
令和７年 11 月	インフルエンザ予防接種	はまゆう園	45 名	35 名
		多機能型事業所(生活介護)	12 名	9名
		多機能型事業所(B型)	７名	４名
		地域生活支援事業所たいよう	５名	１名
令和７年 12 月	65 歳以上コロナワクチン接種	はまゆう園	６名	５名
		多機能型事業所(生活介護)	１名	１名
		多機能型事業所(B型)	２名	１名
毎月１回 （年 12 回）	精神科医師往診	はまゆう園	31 名	29 名
		多機能型事業所(生活介護)	４名	５名
		多機能型事業所(B型)	２名	２名
		共同生活援助事業所あけぼの荘	１名	
		地域生活支援事業所たいよう	５名	１名

令和７年度	入院者	はまゆう園	６名	６名
	内手術に至った人	はまゆう園		１名
入院期間	利用者の年齢及び性別	入院先医療機関	病名及び症状	
令和７年 7/29~9/12	83 歳（女性）	早田病院	心不全、拒食	
令和７年 8/5~8/6	82 歳（女性）	平田東九州病院	悪性症候群疑い	
令和７年 8/6~9/16	83 歳（女性）	田中病院	ﾊﾟｰｷﾝｿﾝﾆｽﾞﾑ症状	
令和７年 8/8~9/9	63 歳（男性）	延岡市医師会病院	誤嚥性肺炎	
令和７年 8/2~8/7	70 歳（男性）	延岡共立病院	発熱・嘔吐	
令和７年 9/8~9/22	70 歳（男性）	延岡共立病院	気管支肺炎	
令和７年 11/7~12/2	59 歳（男性）	延岡共立病院	再生不良性貧血	
令和８年 1/20~1/29	52 歳（男性）	延岡共立病院	誤嚥性肺炎	
令和８年 2/3~2/18	63 歳（男性）	県立延岡病院	右脳出血	
令和８年 2/18~3/31	63 歳（男性）	田中病院	右脳出血	
令和８年 2/21~3/10	60 歳（男性）	黒木病院	糞便性イレウス	
令和８年 3/23~3/25	79 歳（女性）	平田東九州病院	急性腰痛症	

令和７年度 はまゆう園多機能型事業所 事業報告書

（生活介護事業・就労継続支援B型事業）

１．事業概要（令和8年3月31日現在）

生 活 介 護 事 業 （定員30名） （現員33名：内入所利用者7名）
就労継続支援B型事業（定員10名） （現員12名：内グループホーム利用者10名）

職員
所 長 兼 支 援 員 ： 1名
サービス管 理 責 任 者 ： 1名
生 活 介 護 事 業 ： 支援員10名 、運転手3名
就 労 継 続 支 援 Ｂ 型 事 業 ： 支援員 5名 （内1名 目標工賃達成指導員）

【生活介護事業】
利用者の皆様が個性豊かに生き生きと過ごせるように多くのメニューを用意しました。

- 作業活動、園内の花壇管理、段ボールなどのリサイクル活動・出荷作業、枯葉収集（B型事業所との連携）など
- 社会参加活動「季節の取り組み、買い物、喫茶、奉仕活動（地域公共の場清掃）など」
- 情操活動「絵画、カラオケ、季節の取り組み、延岡七夕祭り、パラアート展作品出展、教養講座（習字・生け花・お茶） など」
- 日帰り旅行、ご家族を交えて、「大分うみたまご水族館」へ日帰り旅行実施
  ※ 利用者27名 ご家族3名 職員12名（内運転手2名） 総勢42名
- 作業療法士・理学療法士によるリハビリ、看護師による定期受診、健康チェックなど
- 入浴支援（15名）

【就労継続支援B型事業】

- 農作業「原木椎茸、大根、里芋、山芋、ジャガイモ、生姜、葱、玉葱、レタス、キャベツ、ゴーヤ、キュウリ、ホウレン草、人参、ピーマンなど」
  ※ 耕地面積（園前の畑・下崎の畑）⇒約1ヘクタール
- 新規事業「苺の高設栽培」に取り組む。
  ※ 出荷パック数約1650パック（商品とし出荷されたパック数）
- 農福連携作業「サフラン・山本農園様・亀長農園様・北方町生産組合（果樹園）様」
  個人宅（北方町内を主として）からの除草（畑・果樹園・庭など）作業等の請負作業
- 請負契約「延岡市北方閉校施設・教員住宅回りの除草作業・延岡市広報紙封入作業」
- 日帰り旅行、「大分うみたまご水族館」へ日帰り旅行実施
  ※ 利用者12名 職員6名 総勢18名
- 令和７年度の平均工賃 18,524円

２．職員の研修について

「虐待防止の研修」「救急法の研修」「感染症研修」「BCP に関する研修」等を実施

3. 送迎について

マイクロバスという大型車両を使用しての送迎業務ではありましたが、安全第一に運行を行ない事故なく送迎をすることができました。その他、古くなったマイクロバス1台を更新し、三菱マイクロバスの新車を導入しました。利用者は、新しいバスでの登園が嬉しいようで、送迎時には笑顔も多く見られています。※三菱ローザ（令和8年3月27日納車）

1年を振り返って

生活介護では、日頃の活動成果が、より多くの方々にも見て頂けるよう、延岡七夕祭り、パラアート展などへの作品出展に取り組みました。延岡七夕祭りにおいては、前年度に引き続き表彰（日本旅行延岡支店長賞）を受ける事が出来ました。これらの事は、利用者にとっても、職員にとっても大きな自信へと繋がったと思います。

B型事業所では、農福連携、延岡市からの請負作業（北方町閉校施設の環境整備・延岡市広報紙の封入作業など）、農福連携を通じた地元農家様からの請負活動などに取り組み、地域に必要とされる事業所となれるよう事業運営をはかりました。

その他、社会福祉法人清水基金様より助成を受け取り組んだ「苺」の高設栽培につきましては、『実をみのらせる』という目標を大きく上回り、苺を収穫しパックに詰め販売出荷するに至ることが出来ました。多くの関係者からの助言・協力を得られた結果でもありますが、「苺」という特別な作物を実らせた喜びが利用者の収穫時の表情からも感じられました。

令和７年度 はまゆう園多機能型恒富事業所 事業報告書

○ 事業概要（令和8年3月末現在）

【就労移行支援】

定 員	6 名	現員	4 名

【就労継続支援B型】

定 員	30 名	現員	37 名

【職員】

所長	1名	就労定着支援員	1名	目標工賃達成指導員	0名
サービス管理責任者	1名	生活支援員	4名		
就労支援員	1名	職業指導員	4名		

【工賃】

令和７年度平均工賃	23,292 円	宮崎県目標工賃	28,600 円

○ 活動報告

【就労移行支援事業】

一般就労を目指し主に障害者就業・生活支援センターや相談支援事業所等と連携しながら支援してきました。その結果、4 名の方が一般就労されましたが、精神的な問題で半年経過せず離職してしまうケースがありました。

※就労先 ： 延岡市ワークステーション、アサップ、あまみやの杜

就労移行を利用する方が少なくなっており、利用者の確保が課題となっています。

令和７年度 1 日平均利用実績　2.7 人　 45%

【就労継続支援 B 型事業】

主な取り組みとしては、清掃作業をメインとした請負作業に取り組んできました。また、令和7年度については、道の駅のクッキーの売上が前年度比 30%増と大幅に伸びており、1 年を通してクッキー作業が忙しい状況でした。今後も、バザー等での販売も含め商品開発・販路拡大に努めていきたいと思います。

個別の除草などの請負についても引き続き取り組んでいきたいと思います。

令和７年度 1 日平均利用実績　32.04 人　 106.8%

業務請負先	・延岡市役所 管財課、商業・駅まち振興課、都市計画課 ・㈱全日本検査技術　・延岡市社会福祉協議会 ・ゲン丸館 ・㈱高橋水産、第一環境管理㈱、㈱グッドスタッフ、ゆずの華本舗 ・法明寺、住宅型有料老人ホームだんだん東桜ケ丘、松野工業㈱

令和 6 年度と比較して令和 7 年度は 2,394 円の工賃向上に繋げる事が出来ました。冬場の作業が減る中、令和 7 年度はゆずの華本舗の剪定作業が安定して行われたことが収入アップに繋がったと思います。今

後もより一層の努力を行い、工賃向上に向けて、事業所一丸となって宮崎県の平均工賃を目指していきたいと思っています。

【実習等受け入れ】

今年度も、実習や介護等体験の受け入れについては、支援学校の生徒や大学生を中心に実施してきました。事業所の取り組みを紹介したり、支援学校の生徒や学生の方々と交流したりすることで、職員・利用者双方にとって良い刺激となっています。 今後も、こうした受け入れに積極的に取り組み、地域とのつながりや学びの機会を広げていきたいと考えています。

【その他の活動】

働く事の大切さを伝えると同時に、達成感や楽しさを感じられる活動を取り入れ、継続的な通所意欲に繋げられる事を目的にレクレーション活動を取り入れています。その他にも利用者の日頃の慰労と事業所内の親睦を深める為、日帰り研修を行いました。今年は大分方面に行き、臼杵市のフンドーキン醤油工場へ行っています。皆さんとても楽しい１日を過ごされていました。昼食は、豊後大野市犬飼にある就労継続支援Ｂ型事業所が行っている食事処へ行き、おいしい食事をいただきました。同じＢ型の方々が働いている姿を見て刺激になったようです。

毎月の職員会議では、虐待防止や身体拘束に関する勉強会を継続して実施し、職員の意識向上に努めてきました。その結果として、これまで虐待事案は発生していません。 苦情については、利用者支援や運転マナーなどに関する貴重なご意見をいただいており、真摯に受け止めるとともに、職員間で共通認識を持ち再発防止に取り組んでいます。

また、事故に関しては、車両事故や施設外での物損事故、不注意による怪我などが発生しています。ヒヤリハットの報告を徹底し大きな事故等に繋がらない様、朝礼・終礼や職員会議の場で事故検証と振り返りを行い、原因を共有しながら事故防止に努めています。

令和７年度 就労定着支援事業所 ワンステップ 事業報告書

○ 活動報告

就労定着支援 現員 ２名

定着支援継続

- ダイソー南延岡店　１名（令和7年5月契約終了）
- 特別養護老人ホームひえいの郷 補助員　１名（令和7年4月契約終了）
- イオン延岡　１名
- 牧水苑　１名

主な取り組みとして、当事業所の就労移行支援を利用して就労された方を中心に、定着支援の必要性を丁寧に説明し、当事者やご家族に確認を行ったうえで、関係機関と情報共有しながら順次契約を進めています。訪問が難しい場合には電話で状況確認を行い、関係性を保ちながら継続的な支援を行っています。また、就労先の職員の方々との信頼関係を築き、利用者の皆さんが安心して働ける環境づくりにも力を入れています。

今後は、現在契約している方々の就労継続をしっかり支えるとともに、新たに就労された方への定着支援にも積極的に取り組み、定着率の向上を目指していきたいと考えています。

令和７年度 はまゆう園生活介護恒富事業所 事業報告書

１．事業概要

○ 生活介護

定員	40 名
現員	53 名
平均利用者数（日）	40.43 名
延利用者数（年間）	10,875 名

○ 短期入所

定員	6 名
契約者数	27 名
平均利用者数（日）	3.07 名
延利用者数（年間）	1,015 名

２．基本方針（選ばれる事業所となる為の取り組み）

① 各利用者・ご家族へのアセスメントや日々の会話を通して一人一人が望まれる事を叶えられるように対応し、やりたい事・希望を叶えられるようにします。又、利用者の障害特性や家庭状況に応じた柔軟な利用時間・送迎時間に努めます。

② 法人の計画的な人材育成や各種研修を通し必要なスキルや知識を習得し、利用者の障害特性にあった支援や介護・介助を統一し、利用者の安全・安心・笑顔に繋げ、利用者が安心して支援を任せられる職員になれるようにします。又、事業所内での利用者情報を共有しながら支援統一を図り、利用者の権利擁護・虐待防止に努めます。

③ 看護師による日々の健康管理を行い、家庭・グループホームと連携を蜜に取る事で利用者の疾病予防に努めると共に早い段階での情報提供を行っていきます。又、各専門職（理学療法士・看護師・支援員）がその時々の利用者のADL状況を確実に見極めながら情報共有を行い、理学療法士によるリハビリテーションや日々の支援を通して残存能力の維持を目指します。

３．具体的な対応や取り組み

① 出来るだけ利用者が自分で選んで頂けるように様々な作業や活動・外出を提案しその中から、利用者個人が選べる参加型の取り組みを行いました。送迎も時間や送迎ルートの取り決めは行わず、各ご利用者の希望時間に沿った送迎時間とし各利用者の個別対応を基本にした事で一人一人の要望を叶える事ができ、多くの感謝の言葉も頂けました。

② 法人の研修計画に沿って事業所外研修を9回行い、職員を参加させる事ができました。又、事業所内でも人権研修・虐待防止研修・感染症研修・BCP研修を行いました。リハビリ会議や支援会議は毎月行い、利用者の身体的な特徴や現状、今後の支援方法について職員間で支援の統一と情報統一を行う事が出来ました。ただ、服薬間違い事案が1件、利用者の怪我4件、苦情2件が発生。特に利用者の怪我では右大腿骨遠位部骨折という事で1ケ月半の入院となった事、苦情の1件についても利用者の怪我が原因であるという事においては深く反省したところです。各事案において関係する利用者、ご家族へは状況説明や今後の対応をきちんと示し、謝罪を行いました。

③ 看護師による日々の健康管理を確実に行い、家庭やグループホームと情報共有を行いながら連携を行い必要時には受診を促す対応を行った事で健康面について、利用者・ご家族から事業所側にご指摘を受ける事はありませんでした。又、各専門職が協力し『食事』『排泄』『入浴』『日常動作』等の場面で利用者の『残存能力』を活かす支援を行うと一定程度の身体機能維持や残存能力維持を行う事が出来ました。ただ、利用者の高齢化や持病の悪化が進み、身体機能の低下が見られるケースも増えてきています。

令和７年度 グループホームあけぼの荘 事業報告書

○ ホームの概要

ホーム数 10 ホーム　定員 58（現員 54 ：男 35 女 19）

土地・建物	法人所有	定員 10=1 棟　定員 7=2 棟 定員 5=4 棟
	賃貸物件	定員 5=3 棟

利用者の主管行政区

延岡市	32	日向市	3	門川町	3	高千穂町	8
五ヶ瀬町	4	日之影町	0	美郷町	1	諸塚村	1
椎葉村	1	新富町	1				

利用者の日中活動状況

一般就労	養護老人ホーム若葉荘
	延岡地区環境整備事業協同組合
	日本 PCT 建設株式会社
	特別養護老人ホームひえいの郷
	株式会社 ASAP
	こみちの杜
	イオン延岡ショッピングセンター
	旭化成アビリティ
	JA 延岡キャトルセンター
	延岡市ワークステーション
	ドラッグストアコスモス
福祉事業所利用	はまゆう園多機能型事業所 生活介護・就労継続支援B型
	はまゆう園生活介護恒富事業所
	はまゆう園多機能型恒富事業所 就労移行・就労継続B型
	法人外の事業所

年齢・障害区分

年齢	男性	（23 歳～83 歳）　平均年齢 53.9 歳		
	女性	（19 歳～77 歳）　平均年齢 53.5 歳		
障害区分	知的（療育手帳）	52	身体（身体障害手帳）	0
	精神（精神手帳）	0	知的・身体	2
車椅子利用者	0			

支援スタッフ

所長	1	サービス管理責任者	2	支援員	11（内看護師 5）
世話人	19	夜間支援員	12		

○ 支援報告

【個別性と協働を基盤とした地域生活支援の実践と質の向上】

「利用者とともに」を基軸に、個別支援計画に基づきつつ、多機関との連携による協働的支援を展開しました。定期的なモニタリングにより目標達成度を、また、月々の健康チェックにて健康状態を、それぞれ評価し必要な支援調整を実施しました。利用者の高齢化・重度化や生活習慣に着目し、運動機会の創出や日常生活支援を通じた健康づくりを意識した活動を心がけました。さらに防災訓練、季節行事等を計画的に実施し、安全への意識と生活の質の向上を図りました。加えて、法人の推奨する研修参加と日常的な支援の振り返りにより職員の支援スキルと意識の底上げを行いました。一方で、利用者の困難な支援に対しては支援方法が見いだせず、結果、支援の統一性や継続性を欠くことがあり、今後は、より専門性を高めた支援を実践する必要があると痛感した 1 年となりました。

＜会議等＞

*世話人会・夜間支援員会（月 1 回）

*あけぼの荘 月次会議（月 1 回）

*地域連携推進会議（年 2 回）

*家族会（年 1 回）

＜訓練・研修等＞

*看護師等による健康チェック（月 1 回）

*ホーム別の防災訓練（年 2 回）

*感染対策研修・訓練（年 2 回）

*職員研修（人権擁護・防災・ヒヤリハット・リハビリ）等の委員会活動

令和 7 年度 自立生活援助事業所クローバー 事業報告書

前年度から利用されていた方 1 名が令和 7 年度も引き続き、当該サービスをご利用いただきました。グループホームでの自立訓練では発見できなかった大きな生活課題が発生しましたが、本サービスによる支援により、一緒に課題を克服することができ、この成功体験は利用者にとっても私ども支援者にとっても、大きな成果となりました。

尚、現時点では、令和 8 年度の当該サービスの利用見込みはございません。

令和 7 年度 重度身体障がい者移動支援事業 事業報告書

令和 7 年度における当該サービスの利用実績は件数 35 件、利用人数 6 名となり、前年度と比較すると件数が対前年 59%、利用人員が対前年 50%となりました。

当該サービスは、日常生活において移動に困難を抱える地域で暮らす車椅子常用の身障者または要介護者について、社会参加の促進、生活の質の向上、自立支援、地域福祉の推進などを目的としているもののニーズと提供サービスの再検証が必要な結果となりました。

令和７年度 地域生活支援事業所たいよう 事業報告書

○ ホームの概要

ホーム数 2ホーム　定員17名（現員17名 ：男10 女7） R8.3.31 現在

土地・建物	法人所有	定員 10=1 棟　 定員 7=1棟

利用者の主管行政区

延岡市	7	日向市	4	門川町	0	高千穂町	1
五ヶ瀬町	0	日之影町	1	美郷町	2	諸塚村	1
椎葉村	1						

利用者の日中活動状況

福祉事業所利用	はまゆう園多機能型事業所 生活介護
	はまゆう園生活介護恒富事業所

年齢・障害区分

年齢	男性	（33 歳～79 歳）　 平均年齢 55.9 歳		
	女性	（36 歳～83 歳）　 平均年齢 63.4 歳		
療育・身障手帳関係	知的（療育手帳）	13	身体（身体障害手帳）	1
	精神（精神手帳）	0	知的・身体	3
車椅子利用者	3			

障害支援区分

区分6	5人	区分5	12人	区分4	0 人

支援スタッフ

所長・サービス管理責任者		1	支援員	11（内看護師3）
世話人	6	夜間支援員	11	

【基本方針】

・日中サービス支援型グループホームならびに短期入所施設として地域福祉の発展・安定に寄与します。

・日中もホームで過ごす利用者の特性や状態に留意しつつ、健やかで心が豊かになるような日中活動の創意工夫と提供をはかります。

・地域社会との共生・連携と社会参加の促進をはかります。

基本方針を重点に、利用者一人一人の個性や特性を尊重しつつ、心地よい日常生活・楽しい日中活動が提供出来るように支援に取り組んできました。また、各事業所との連携も深め、一人一人の生活が豊かなものになるように支援をおこないました。昨年 6 月に、地域生活支援事業所としては、初の看取りをおこないました。乳癌を患われる利用者の意思において、入院はせずホームで最後を迎えたいと言う気持ちに寄り添う支援と

なりました。日々、意識が薄らいでいく中で、私たちが出来ることを精一杯取り組み、最後は安らかに旅立たれました。我々支援者に於いても、貴重な体験をさせて頂き、地域の医療関係者との面密な連携がとても大事であると痛感致しました。

療育活動の中で、健康面に重視した取り組みを継続することで、健康維持に繋げられるように、毎日体操を組み入れて支援を図っています。また、今年も季節に応じた行事を取り入れながら、潤いある生活が送れるように取り組みました。地域で暮らす一員として、地域貢献が出来るように、沿道美化などのボランティア活動などもおこなっています。

【実施した行事】

7 月・・・開園 1 周年記念（夏祭り）　12 月・・・忘年会　1 月・・・新年会

2 月・・・細川たかしコンサート参加　3 月・・・ひな祭り

※ふるさと巡り 美郷町（石峠レイクランド）

月別誕生会（誕生者のいる月に実施）

季節に応じた作品作り　周辺のゴミ拾い

<その他>

＊月 1 回の看護師による健康チェック

＊年 2 回のホーム別の防災訓練

＊職員研修や人権擁護・防災・ヒヤリハット・リハビリ等の委員会活動

＊救急法

令和７年度 のべおか障害者就業・生活支援センター 事業報告書

① 年度末（令和8年3月末）時点の支援対象障害者数（登録者数）

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
人数	85	188	266	16	555

②年度中に新規登録した支援対象障害者数

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
人数	17	18	34	0	69

③支援対象障害者に対する相談・支援件数（内容別）

内容	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
就職相談	186	232	626	23	1067
職場定着	34	319	193	27	573
生活相談	25	119	102	5	251
上記以外	4	20	30	0	54
合計	249	690	951	55	1,945

④職場実習のあっせん状況

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
件数	5	8	23	0	36

⑤一般事業所への就職件数（1か月以上の雇用）

登録者内訳	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
件数	7	15	23	1	46

⑥事業主に対する相談・支援件数（内容別）

内容	身体障害	知的障害	精神障害	発達・難病等	合計
雇入れ	62	92	167	37	358
職場定着	12	253	93	15	373
生活相談	0	8	3	0	11
雇用制度	0	0	1	3	4
合計	74	353	264	55	746

⑦関係機関との連携状況

項目	件数
個別支援事例に関する助言・支援	886
他機関が開催するケース会議への出席等	15
障害者雇用に関する一般的な相談	15
センターの登録者に関するケース会議やそれに関する打合せ等	122
他機関への支援依頼や紹介等	124
合計	1,162

⑧職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

R７．５．１０	(土)	テーマ:(株)九州千雅に勤める仲間達の集い	参加者	５名
R７．７．５	(土)	テーマ:アビリンピック見学	参加者	１５名
R７．１１．３	(祝)	テーマ:はまゆう園収穫祭参加	参加者	８名
R7.12.13	(土)	テーマ:西臼杵地区在職者交流会	参加者	３名
R８．２．２３	(祝)	テーマ:ピアサポート活動	参加者	１０名

⑨研修等

・障がい者就労支援基礎的研修　オンデマンド研修期間(5/7～6/4)
　集合研修 ※ポリテクセンター宮崎(7/2)にて1名受講
・全国就業ネットワーク 定例研究・研修会 10/3～10/4 なら 100 年会館 1 名参加
・障がい者就業・生活支援センター就業支援スキルアップ向上研修
　(前期 5/28～5/30)(後期 10/15～10/17) ※千葉県障害者職業総合支援センターにて1名参加
・九州地区ブロック別経験交流会議 11/25　※オンラインにて 1 名参加
・全国フォーラム IN 八王子　2/10～2/11　※東京都八王子市にて2名参加
・就労選択支援の最前線と未来　3/16 ※オンラインにて1名参加
・障害者雇用促進セミナー 1/16 参加企業9社 関係機関を含め参加者20名

⑩総括

○ 障害者の就業及び生活支援

新規登録者数(本年度 69 人/前年度 54人)、職場実習件数(本年度 36 件／前年度 29 件)就職件数(本年度 46 件／前年度 35 件)は増加。しかし、今年度の定着率(就職して 1 年経過時点の在職率/センター実績)は 77.1%。障害種別でみると、身体障害は 80.0%、知的障害は 84.6%。精神障害は 66.7%と精神障害者の定着率が引き続き課題となっています。登録者の年齢別にみると 10 代～30 代は 54.4%、40 代以上は 45.5%と中高年の登録者も多く、中高年の就職相談、継続雇用は今後の課題です。

今年度も、他機関と連携し、就業支援と生活支援を一体的に提供することができました。例えば、登録者だけでなく家族の相談や、一人暮らしを維持するための相談などは、必要な支援に結びつくために基幹センターや、相談支援事業所に繋ぎ連携することができました。

○ 地域の就労支援底上げ

地域との連携強化においては、旭化成アビリティの協力を頂き、地域の企業向けに実施した雇用促進セミナーを実施。グループワークも実施し、企業間の困り感を共有する繋がりのできる機会を実施することができました。地域の協議会(延岡市障がい者自立支援協議会や西臼杵障がい者自立支援協議会等)に関しては、積極的に参加。又、西臼杵地区においては、定期的(月に 2 回)な巡回相談を実施しました。

○ 職員育成と専門性の研鑽

今年度より就業支援担当者の配置要件の研修体系が変更になり、より専門人材のスキルを求める体系となり職員1名が受講しました。研修に参加した際は、職員間で情報共有し、職員のスキル向上に努めることもできました。

令和７年度 宮崎県障害児・者そうだんサポートセンターはまゆう 事業報告書

【概要・実績】

計画相談支援

入所利用者 対象 86 名	更新 49 件 ・新規 0 名 ・モニタリング 117 件 **計 166 件**
GH利用者 対象 73 名	更新 29 件 ・新規 0 件 ・モニタリング 170 件 **計 199 件**
地域移行支援 対象1名	更新 0 件 ・新規 1 件 ・モニタリング 0 件 **計 1 件**
地域生活者 対象 113 名	更新 117 件 ・新規 7 件 ・モニタリング 346 件 **計 530 件**
児童 対象 55 名	更新 43 件 ・新規 2 件 ・モニタリング 86 件 **計 131 件**

療育等支援事業

訪問療育支援	243 件	職員等支援	120 件	研 修	3 件	計 366 件

保育園・学校等訪問

保育所等訪問	5 件	学校訪問	63 件	個別面談	14 件	計 82 件

職員体制

相談支援専門員	4 名 （内、センター長 1名）

【報告】

相談事業に関しては、それぞれの相談員が計画的に各事業所などと連携を図り業務を遂行しました。その結果、利用者やご家族の意向に沿う形での計画作成やモニタリング会議など、滞りなく進めることができ、家庭訪問やご家族との面談についても計画的に実施することができました。また、相談支援専門員の変更については段階的に移行することができました。あわせて、「地域移行支援」「地域定着支援」及び令和7年10月から開始された「就労選択支援」において、各1名の該当者に対応しました。

機能強化型の要件である定期的な会議を毎週実施することで、相談支援専門員としてのスキルアップを図ることができました。

療育等支援事業に関しては、契約講師が依頼のあった事業所及び対象者に対し専門的な視点から相談や支援を実施しており、計画通り取り組むことができました。また、「恵の聖母の家」の松田光展医師との活動も定着し、保育所等からのニーズも高く、個別相談についても計画的に対応することができました。

西臼杵地区に関しては、「西臼杵こども・障がい者ネットワークセンター」が中心となり、保育所や幼稚園、学校等への訪問支援を実施しました。また、療育等支援事業を活用し小学校や保育所における相談支援や研修会についても、必要に応じて対応しました。

令和７年度 延岡市西部地域基幹相談支援センター 事業報告書

令和７年度 延べ人数 3,559 件（者 2,666 件 児 893 件）実人数 443 名（者 182 名 児 261 名）

○ 会議について

・ 延岡市基幹相談支援センター定例会議（障がい福祉課、北部、南部地域基幹相談支援センター）
令和7年度 （4 月、5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月の 7 回実施）
延岡市障がい福祉課を交え、基幹相談支援センターの月例報告やケース課題についての情報の共有

・ 西部地域エリア懇談会
そうだんサポートセンターはまゆう、相談支援事業所はーと、相談支援事業所あるたす、
相談支援事業所こころと、相談支援事業所きらり、相談支援事業所 Loska、
エリア内6事業所と、勉強会の実施
内容…事例、子どもネットワークとの勉強会、教育機関、相談支援専門員同士の情報の共有などをおこない連携の強化を図る。

○ 地域支援について

・「もちの木作業所」への定期訪問。親亡き後を見据えた支援

・西部地域の小中学校への訪問
「岡富小学校」「岡富中学校」「延岡小学校」「北方学園小中学校」
「西階中学校」「南方小学校」「上南方小中学校」へ通う児童への支援。
エリア外 「延岡商業高校」「延岡星雲高校」「聖心ウルスラ学園高校」「延岡青朋高校」

・民児協会議に参加したことで、相談が増えた

・福祉サービスおよび相談支援専門員への繋ぎ
福祉サービスの利用を依頼された方の相談支援専門員へ繋ぎ、連携・サポートをする支援を実施。モニタリングや会議への同席。

・包括支援センターとの連携
南方包括支援、中央包括支援、土々呂包括支援、北方包括支援センター

・民生委員、児童委員、区長との連携
家庭支援、地域支援、当事者支援、民児協会議に定期的に参加し情報の共有を図る。

・延岡・西臼杵権利擁護センターとの連携
成年後見人等の支援

○総括

令和７年度も、地域の中核的な相談支援センターの役割を行い地域作りの足がかりとなった年度になったと感じています。研修は開催できませんでしたが、令和８年度は延岡市内の基幹相談支援センターにも協力を依頼して研修の開催を進める予定です。個別のケースが年々増えてきている中で、センター職員の援助技術も少しずつ上がってきていると感じています。子どもから大人までの支援をしっかりとできるようになってきており、ライフステージ（幼時から就学期、成人期）に必要な支援のスキルも身についてきました。今後は、誰が対応しても隙間なく切れ目のない支援ができるように、センター職員皆で精進していきたいと考えます。

令和 7 年度 主な設備事業関係

社会福祉法人 高 和 会

拠点区分/勘定科目	記　　事	
障害者支援施設 はまゆう園		
構築物	イチゴ栽培用ビニールハウス一式	15,070,000 円
	（社会福祉法人清水基金助成事業 補助額10,000,000円）	
	きらめき棟･どりーむ棟周辺渡り廊下整備工事	4,783,000 円
		19,853,000 円
車両運搬具	三菱ローザ（送迎用マイクロバス）	8,643,360 円
		8,643,360 円
器具及び備品	IHIオゾン脱臭機eZ-3000	825,000 円
	RICOHレーザープリンターP6500（栄養士）	129,800 円
	富士通ノートPC8台（入所各棟/多機能型事業所）	1,397,000 円
	3棟女子トイレ改修工事（和式→様式）	558,258 円
	ガス発電機用供給設備工事（2箇所）	748,000 円
	ELSONA T-7500 LPガス･ガソリン発電機	940,500 円
	HONDA･矢崎 EU15iGP ガス発電機	253,000 円
	IPカメラ･ディスプレイ増設工事	1,430,000 円
	（ICT導入支援事業補助金 750,000円）	
	富士通デスクトップPC他19台（windows 10サポート終了対応）	3,168,000 円
	日本光電 自動体外式除細動器（AED-3100）	264,000 円
		9,713,558 円
	障害者支援施設はまゆう園 固定資産取得費合計	**38,209,918 円**
はまゆう園 多機能型恒富事業所		
器具及び備品	Dell デスクトップPC	154,000 円
	DYNABOOK ノートPC 3台	493,020 円
	NEC ノートPC	174,900 円
	はまゆう園多機能型恒富事業所 固定資産取得費合計	**821,920 円**
はまゆう園 生活介護恒富事業所		
土　地	宅地（延岡市恒富町3丁目8番地6） 古家解体工事	1,760,000 円
		1,760,000 円
器具及び備品	エアコン室外機移設工事（給食部）	429,000 円
	トイレ一式取り換え工事	231,000 円
	DYNABOOK ノートPC 2台	328,680 円
		988,680 円
	はまゆう園生活介護恒富事業所 固定資産取得費合計	**2,748,680 円**

拠点区分/勘定科目	記　　事	
宮崎県障害児・者 そうだんサポートセンターはまゆう		
車両運搬具	三菱オートリース ダイハツタント リースアップ（宮崎581せ358）	110,000 円
	三菱オートリース ダイハツミライース リースアップ（宮崎581そ707）	110,000 円
	宮崎県障害児・者そうだんサポートセンターはまゆう固定資産取得費合計	**220,000 円**
地域生活支援事業		
土　地 （基本財産）	大貫町6丁目あさひ荘南東面宅地造成工事	7,775,600 円
		7,775,600 円
土　地 （その他）	延岡市大貫町2丁目1304番1 宅地（988.41㎡）	65,394,835 円
		65,394,835 円
構築物	ウッドデッキ設置工事（第1あさひ荘）	2,024,400 円
	避難ロスロープ設置工事（第1あさひ荘）	143,600 円
	フェンス設置工事（第1あさひ荘）	474,400 円
		2,642,400 円
器具及び備品	HPノートPC 2台（GH事務所）	308,000 円
	HPノートPC 5台（たいよう）	770,000 円
	（ICT導入支援事業補助金 525,000円）	
	HPノートPC 3台（GH事務所）	462,000 円
	APカメラ増設工事（ひなぎく・のた・第4おおぬき）	726,000 円
	（ICT導入支援事業補助金 750,000円）	
	トイレ跳ね上げ式手すり（歩）	113,900 円
		2,379,900 円
	地域生活支援事業 固定資産取得費合計	**78,192,735 円**
	法人合計 固定資産取得費合計	**120,193,253 円**

令和 7 年度 主な修繕事業関係

はまゆう園 / 居室畳表替え他	612,700 円
たいよう / 第1・2あさひ荘脱衣場床防水補修工事	264,000 円
はまゆう園 / きらめき棟外壁シーリング工事	170,500 円
はまゆう園 / きらめき棟空調修理	330,000 円
はまゆう園他 / 消防設備点検補修工事等	729,300 円